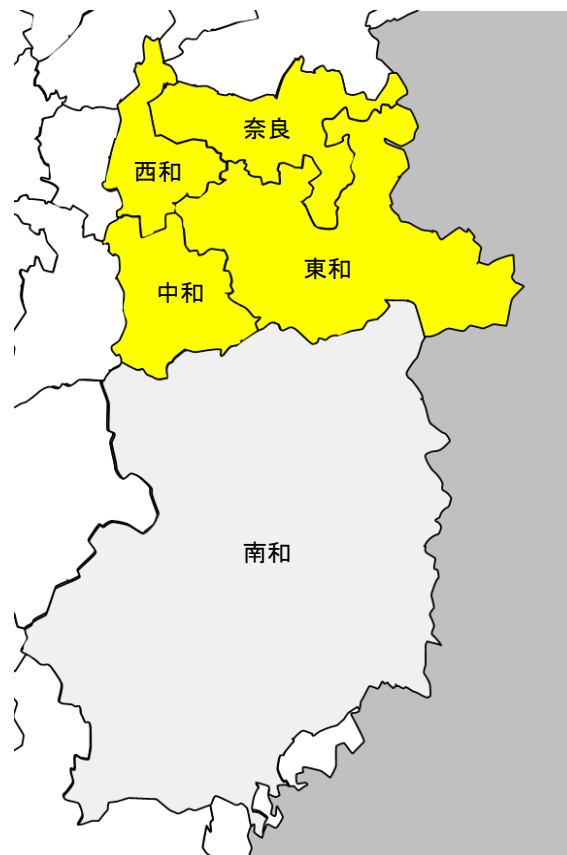


29. 奈良県

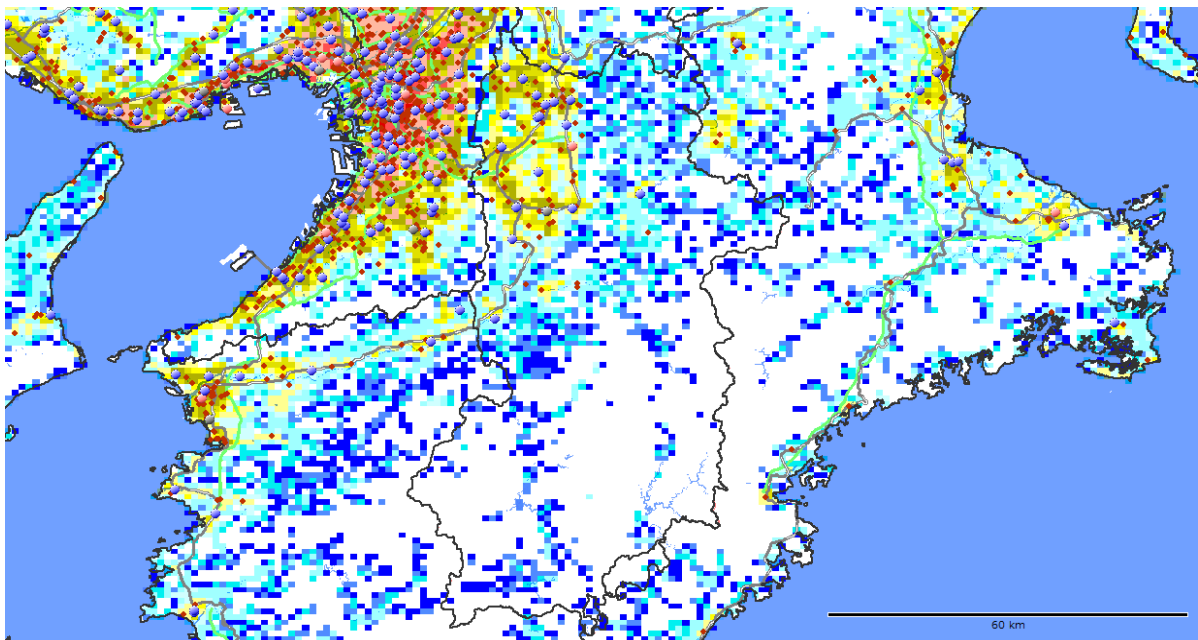


目次

奈良県	29	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	29	-	8
1. 奈良医療圏	29	-	20
2. 東和医療圏	29	-	25
3. 西和医療圏	29	-	30
4. 中和医療圏	29	-	35
5. 南和医療圏	29	-	40

29. 奈良県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（奈良県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 奈良県は、総人口約1370千人（2015年推計）、面積3691km²、人口密度は371人/km²である。

***人口の将来予測：** 奈良県の総人口は2025年に1280千人へと減少し（2015年比－7%）、2040年に1096千人へと減少する（2025年比－14%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の183千人が、2025年にかけて254千人へと増加し（2015年比＋39%）、2040年には247千人へと減少する（2025年比－3%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 奈良県の一人当たり医療費（国保）は318千円（偏差値50）、介護給付費は233千円（偏差値44）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 奈良県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.88で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が51（病院医師数51、診療所医師数50）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 奈良県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、18335人（75歳以上1000人当たりの偏差値51）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が11851床（偏差値54）、高齢者住宅等が6484床（偏差値47）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、14417人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム50、軽費ホーム54、グループホーム48、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、2895人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は－20%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

奈良県の総人口は、2005年1421310人が、2015年に1370353人と4%減少し、2025年の人口が1279718人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

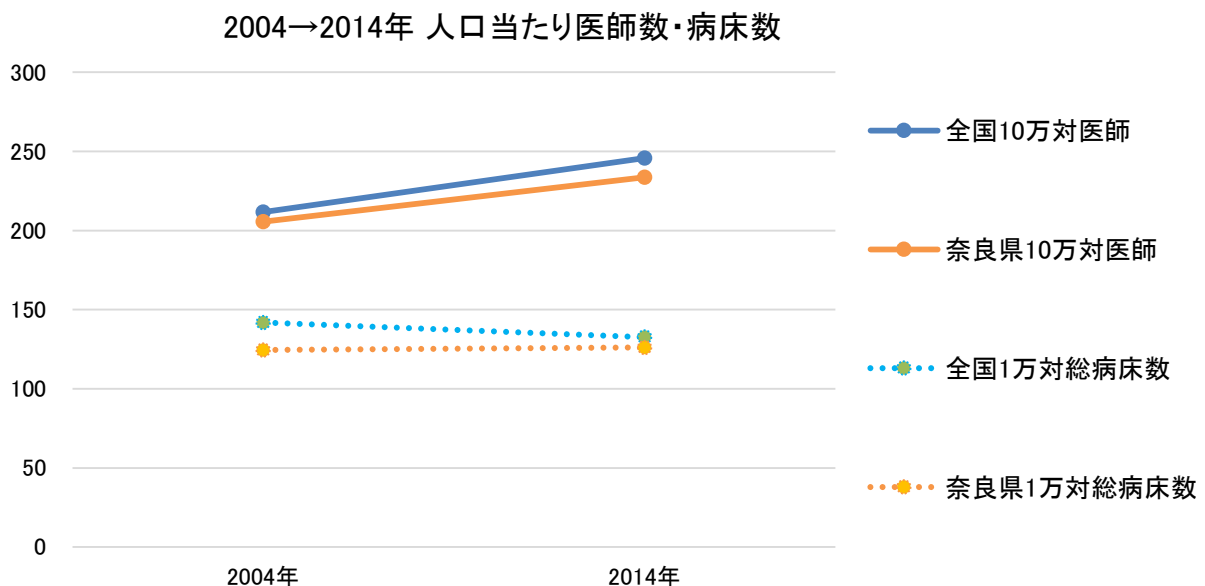
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が79(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に77(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が1084(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に1187(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、103診療所が増加した。

2004年の総病床数が17696床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に17276床(人口1万人当たり126(全国平均133)偏差値49)と、420床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

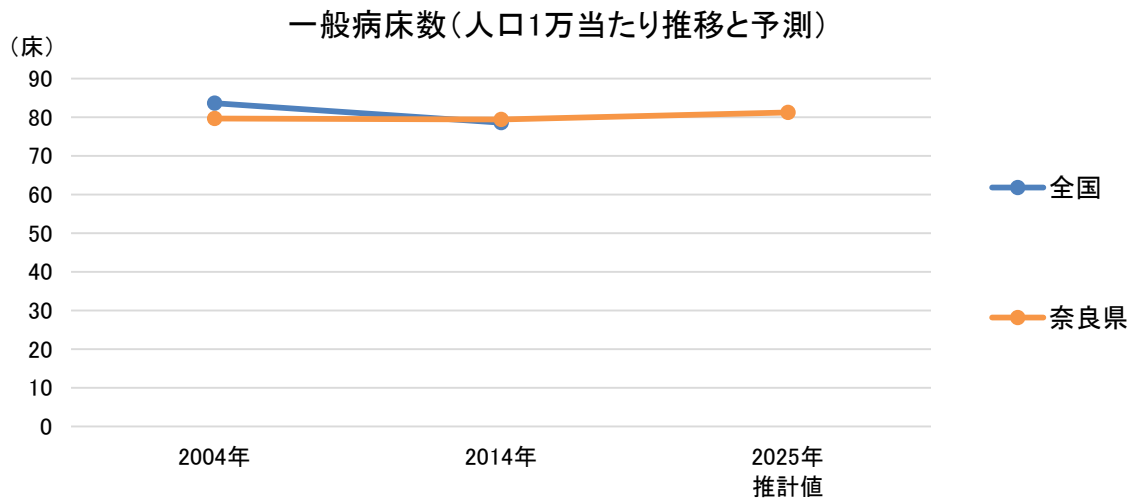
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2923人(人口10万人当たり206人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に3201人(人口10万人当たり234人(全国平均246人)偏差値49)と、278人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



29. 奈良県（2016年版）

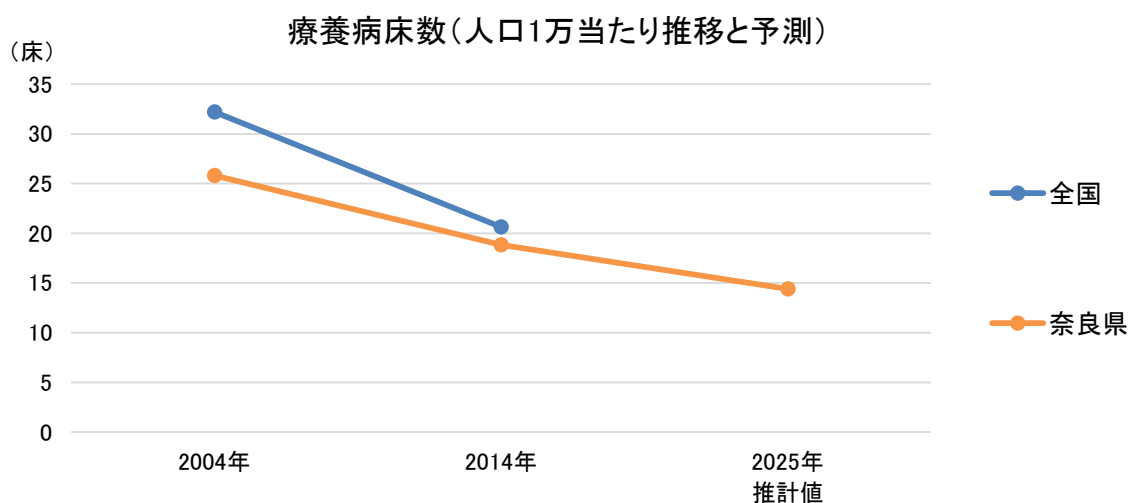
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11319床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に10882床(人口1万人当たり79(全国平均79)偏差値50)と、437床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には10402床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



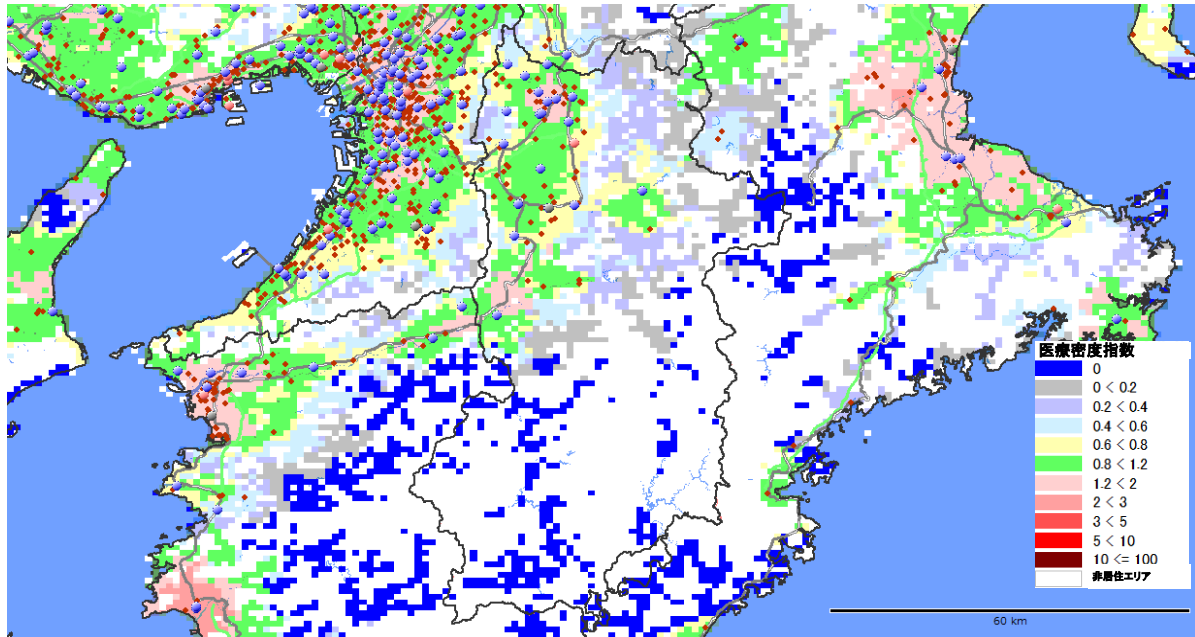
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3260床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に3451床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、191床の増加、率にして6%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3661床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

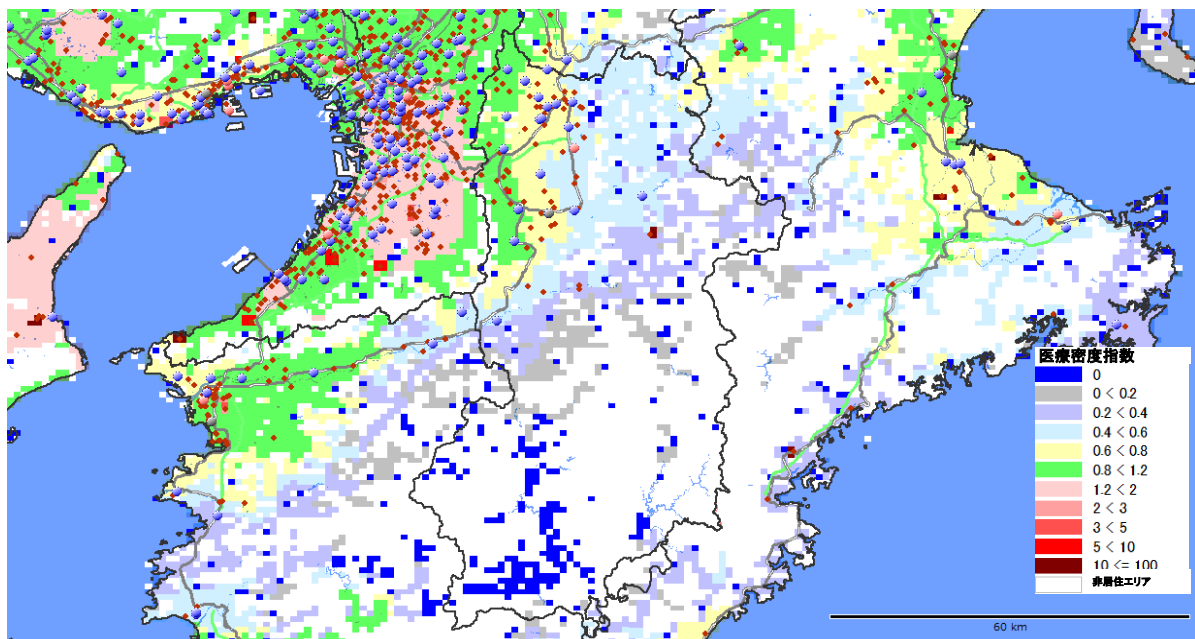


3. 医療密度⁵

図表29-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-2 慢性期医療密度指数マップ



29. 奈良県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 29-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
奈良県	1,370	30位	3,691	40位	371.3		29%	1,280	1,096	183	254	247	-7%	-14%	39%	-3%
奈良	360	26%	277	8%	1,299.8	地方都市型	29%	337	288	48	69	68	-6%	-15%	44%	-1%
東和	211	15%	658	18%	321.2	地方都市型	29%	193	161	30	38	36	-9%	-17%	27%	-5%
西和	346	25%	169	5%	2,049.7	大都市型	29%	325	279	44	66	62	-6%	-14%	50%	-6%
中和	379	28%	241	7%	1,573.3	地方都市型	27%	362	323	46	66	66	-4%	-11%	43%	0%
南和	75	5%	2,347	64%	31.9	過疎地域型	36%	62	46	15	15	14	-17%	-26%	0%	-7%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 29-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
奈良県	0.85	0.88	-23.7%	-20.2%
奈良	0.99	0.87	-41.4%	-40.7%
東和	0.74	0.91	-21.2%	-14.9%
西和	0.77	0.76	-20.7%	-13.1%
中和	0.86	0.64	-37.2%	-39.0%
南和	0.79	1.32	8.4%	17.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 29-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
奈良県	318	50	0.980	233	44
奈良	316	49	0.947	231	44
東和	300	45	0.946	253	50
西和	333	54	0.978	219	41
中和	315	49	0.988	218	40
南和	326	52	1.002	300	63
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 29-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
奈良県	77	0.9%	5.6	47	1,187	1.2%	87	54
奈良	23	30%	6.4	49	377	32%	105	63
東和	12	16%	5.7	48	159	13%	75	48
西和	17	22%	4.9	46	277	23%	80	50
中和	20	26%	5.3	47	302	25%	80	50
南和	5	6%	6.7	50	72	6%	96	59
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 29-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
奈良県	1,187	1.2%	87	54	1,137	1.2%	83	55	50	0.6%	3.6	46
奈良	377	32%	105	63	364	32%	101	65	13	26%	3.6	46
東和	159	13%	75	48	148	13%	70	49	11	22%	5.2	48
西和	277	23%	80	50	268	24%	78	53	9	18%	2.6	44
中和	302	25%	80	50	291	26%	77	52	11	22%	2.9	44
南和	72	6%	96	59	66	6%	88	58	6	12%	8.0	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

29. 奈良県（2016年版）

資_図表 29-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
奈良県	16,701	1.1%	1,219	50	575	0.5%	42	46	17,276	1.0%	1,261	49
奈良	4,367	26%	1,214	50	153	27%	43	46	4,520	26%	1,256	49
東和	2,661	16%	1,259	50	113	20%	53	47	2,774	16%	1,312	50
西和	3,971	24%	1,149	48	110	19%	32	45	4,081	24%	1,181	47
中和	4,932	30%	1,302	51	125	22%	33	45	5,057	29%	1,335	50
南和	770	5%	1,028	46	74	13%	99	51	844	5%	1,127	46
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 29-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
奈良県	10,333	1.2%	754	52	3,425	1.0%	250	50	2,890	0.9%	211	47
奈良	2,949	29%	820	55	791	23%	220	48	587	20%	163	45
東和	2,003	19%	948	61	568	17%	269	50	86	3%	41	40
西和	2,241	22%	649	47	894	26%	259	50	836	29%	242	49
中和	2,574	25%	680	49	968	28%	256	50	1,381	48%	365	54
南和	566	5%	756	52	204	6%	272	51	0	0%	0	38
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 29-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
奈良県	1,057	1.5%	77	55				
奈良	224	21%	62	51				
東和	244	23%	115	63				
西和	312	30%	90	57				
中和	277	26%	73	54				
南和	0	0%	0	38				
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生 局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数 データがないため非掲載。			

資_図表 29-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
奈良県	5,899	5,356	148	10,092	5,074	2,505	51.4%	50	5.6%	48
奈良	1,253	1,213	0	3,019	1,820	612	40.0%	45	0.0%	46
東和	1,821	1,631	100	747	411	336	79.9%	61	22.9%	56
西和	763	615	0	3,116	1,814	649	25.3%	39	0.0%	46
中和	1,490	1,373	0	3,012	987	752	58.2%	52	0.0%	46
南和	572	524	48	198	42	156	92.6%	67	23.5%	56
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 29-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
奈良県	30,276	1.1%	2,209	50	9,624	0.9%	702	46
奈良	7,500	25%	2,084	49	2,724	28%	757	48
東和	6,576	22%	3,111	58	1,488	15%	704	46
西和	6,648	22%	1,924	47	1,956	20%	566	42
中和	8,988	30%	2,373	51	3,456	36%	912	54
南和	564	2%	753	36	0	0%	0	22
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 29-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
奈良県	3,781	1.1%	276	51	2,374	1.1%	173	51	1,407	1.1%	103	50
奈良	1,078	29%	300	53	590	25%	164	50	488	35%	136	60
東和	650	17%	308	54	461	19%	218	58	189	13%	90	46
西和	712	19%	206	43	422	18%	122	43	290	21%	84	44
中和	1,195	32%	315	55	838	35%	221	58	357	25%	94	47
南和	146	4%	195	42	63	3%	85	38	82	6%	110	52
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

29. 奈良県 (2016年版)

資_図表 29-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
奈良県	191	1.2%	13.9	52	123	1.0%	9.0	48	110	1.1%	8.0	49
奈良	46	24%	12.8	51	37	30%	10.3	51	44	40%	12.2	60
東和	44	23%	20.8	63	26	21%	12.3	55	13	12%	6.2	45
西和	21	11%	6.1	41	20	16%	5.8	41	17	15%	4.9	41
中和	69	36%	18.2	59	38	31%	10.0	50	35	32%	9.2	53
南和	11	6%	14.7	53	2	2%	2.7	34	1	1%	1.3	32
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 29-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
奈良県	53	1.0%	3.9	49	110	1.2%	8.0	52	91	1.2%	6.6	53
奈良	23	43%	6.4	60	35	32%	9.7	57	29	32%	8.1	58
東和	8	15%	3.8	48	17	15%	8.0	52	16	18%	7.6	56
西和	9	17%	2.6	43	26	24%	7.5	50	17	19%	4.9	46
中和	12	23%	3.2	45	28	25%	7.4	50	28	31%	7.4	56
南和	1	2%	1.3	37	4	4%	5.3	44	1	1%	1.3	33
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 29-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
奈良県	90	1.1%	6.6	50	204	1.0%	14.9	48	230	1.5%	16.8	60
奈良	22	24%	6.1	49	42	21%	11.7	44	70	30%	19.5	66
東和	4	4%	1.9	37	47	23%	22.2	59	38	17%	18.0	63
西和	24	27%	6.9	51	35	17%	10.1	42	44	19%	12.7	51
中和	40	44%	10.6	61	76	37%	20.1	56	69	30%	18.2	64
南和	0	0%	0	31	4	2%	5.3	35	9	4%	12.0	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 29-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		4.5	(2.1)			5.0	(2.4)			4.2	(3.0)	
奈良県	1.4%	6.0	57		1.1%	5.0	50		1.4%	5.5	54	
奈良	27%	6.1	58		23%	4.4	48		19%	3.9	49	
東和	20%	7.6	65		23%	7.6	61		31%	10.9	73	
西和	17%	4.1	48		22%	4.3	47		8%	1.7	42	
中和	30%	6.6	60		29%	5.3	51		40%	7.9	63	
南和	6%	6.7	60		3%	2.7	40		3%	2.7	45	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 29-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		5.2	(3.1)			1.2	(0.9)			2.6	(1.7)	
奈良県	1.0%	5.0	49		1.2%	1.4	52		1.3%	3.1	53	
奈良	32%	6.1	53		26%	1.4	52		50%	5.8	69	
東和	13%	4.3	47		26%	2.4	62		12%	2.4	49	
西和	13%	2.6	42		11%	0.6	43		12%	1.4	43	
中和	38%	6.9	55		37%	1.8	57		26%	2.9	52	
南和	3%	2.7	42		0%	0	37		0%	0	35	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 29-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数				リハビリテーション科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		1.6	(1.2)			1.9	(1.3)	
奈良県	0.9%	1.2	47		1.2%	2.0	51	
奈良	24%	1.1	46		36%	2.8	57	
東和	18%	1.4	49		21%	2.8	57	
西和	24%	1.2	47		4%	0.3	38	
中和	35%	1.6	50		32%	2.4	54	
南和	0%	0	37		7%	2.7	56	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

29. 奈良県（2016年版）

資_図表 29-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
奈良県	10,923	1.0%	797	48	9,554	1.1%	697	49	1,369	0.7%	100	42
奈良	3,010	28%	837	49	2,626	27%	730	51	384	28%	107	43
東和	1,915	18%	906	51	1,690	18%	800	54	225	16%	106	43
西和	2,474	23%	716	45	2,158	23%	624	46	316	23%	91	41
中和	3,040	28%	803	48	2,711	28%	716	50	328	24%	87	41
南和	484	4%	646	42	368	4%	491	41	116	8%	155	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 29-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
奈良県	1,361	1.1%	99	51	2,617	0.9%	191	46
奈良	407	30%	113	54	803	31%	223	50
東和	300	22%	142	59	360	14%	170	44
西和	330	24%	95	50	664	25%	192	46
中和	301	22%	79	47	698	27%	184	46
南和	23	2%	31	38	92	4%	123	39
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 29-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
奈良県	148	1.0%	0.8	48	7	0.6%	0.0	45	119	1.2%	0.6	54
奈良	36	24%	0.7	47	3	43%	0.1	49	36	30%	0.7	59
東和	22	15%	0.7	46	1	14%	0.0	45	15	13%	0.5	45
西和	41	28%	0.9	51	2	29%	0.0	47	28	24%	0.6	53
中和	44	30%	1.0	52	1	14%	0.0	43	31	26%	0.7	55
南和	5	3%	0.3	38	0	0%	0	39	9	8%	0.6	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 29-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
奈良県	18,335	1.1%	100	51	11,851	1.2%	65	54	6,484	1.0%	35	47
奈良	4,817	26%	100	50	2,841	24%	59	49	1,976	30%	41	51
東和	2,708	15%	89	44	1,934	16%	64	53	774	12%	26	41
西和	4,995	27%	114	59	2,600	22%	59	50	2,395	37%	55	60
中和	4,440	24%	97	49	3,293	28%	72	60	1,147	18%	25	40
南和	1,375	7%	92	46	1,183	10%	79	65	192	3%	13	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 29-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
奈良県	4,483	1.2%	24	54	6,645	1.2%	36	53	723	1.1%	3.9	50
奈良	1,048	23%	22	49	1,621	24%	34	50	172	24%	3.6	49
東和	610	14%	20	47	1,240	19%	41	57	84	12%	2.8	47
西和	966	22%	22	50	1,385	21%	32	48	249	34%	5.7	54
中和	1,499	33%	33	69	1,652	25%	36	53	142	20%	3.1	48
南和	360	8%	24	54	747	11%	50	66	76	11%	5.1	52
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 29-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム				グループホーム			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
奈良県	2,448	1.1%	13.4	50	422	1.9%	2.3	54	1,904	1.0%	10.4	48
奈良	654	27%	13.5	50	80	19%	1.7	51	531	28%	11.0	49
東和	182	7%	6.0	43	202	48%	6.7	76	337	18%	11.1	49
西和	1,207	49%	27.5	64	80	19%	1.8	52	472	25%	10.8	48
中和	405	17%	8.9	45	30	7%	0.7	47	411	22%	9.0	45
南和	0	0%	0	37	30	7%	2.0	53	153	8%	10.2	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

29. 奈良県（2016年版）

資_図表 29-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
奈良県	1,710	0.8%	9.3	45	84	0.6%	0.5	48	1,626	0.8%	8.9	45
奈良	711	42%	14.7	53	0	0%	0	45	711	44%	14.7	54
東和	53	3%	1.8	33	0	0%	0	45	53	3%	1.8	34
西和	636	37%	14.5	52	84	100%	1.9	57	552	34%	12.6	51
中和	301	18%	6.6	41	0	0%	0	45	301	19%	6.6	41
南和	9	1%	0.6	32	0	0%	0	45	9	1%	0.6	32
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 29-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
奈良県	1,863	1.2%	10.2	52	1,335	1.1%	7.3	50	528	1.3%	2.9	54
奈良	472	25%	9.8	50	316	24%	6.5	47	156	29%	3.2	58
東和	279	15%	9.2	48	210	16%	6.9	49	69	13%	2.3	47
西和	450	24%	10.3	52	332	25%	7.6	52	118	22%	2.7	52
中和	517	28%	11.3	57	365	27%	8.0	54	151	29%	3.3	59
南和	146	8%	9.8	50	112	8%	7.5	51	34	6%	2.3	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 29-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
奈良県	17,312	1.2%	95	54	14,417	1.1%	79	52	2,895	1.3%	15.8	54
奈良	4,659	27%	96	55	3,720	26%	77	50	939	32%	19.4	61
東和	2,753	16%	91	51	2,409	17%	80	53	344	12%	11.3	46
西和	4,108	24%	94	53	3,398	24%	78	51	710	25%	16.2	55
中和	4,501	26%	99	57	3,780	26%	83	55	722	25%	15.8	54
南和	1,291	7%	86	47	1,111	8%	74	48	180	6%	12.0	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 29-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
奈良県	10,193	1.0%	56	47	5,347	1.3%	29	54	17,905	1.2%	98	52
奈良	4,799	47%	99	61	1,893	35%	39	63	5,464	31%	113	57
東和	1,579	15%	52	46	655	12%	22	47	2,445	14%	81	47
西和	1,451	14%	33	39	1,074	20%	24	49	4,333	24%	99	53
中和	2,080	20%	46	44	1,328	25%	29	54	4,467	25%	98	52
南和	284	3%	19	35	397	7%	27	51	1,196	7%	80	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 29-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
奈良県		1,421,310	1,370,353	-4%	1,279,718	-10%	13%	4%	18%
奈良	地方都市型	370,102	359,824	-3%	337,163	-9%	15%	6%	22%
東和	地方都市型	228,586	211,378	-8%	192,696	-16%	6%	1%	6%
西和	大都市型	351,929	345,511	-2%	324,968	-8%	17%	6%	24%
中和	地方都市型	380,851	378,742	-1%	362,457	-5%	16%	6%	23%
南和	過疎地域型	89,842	74,898	-17%	62,434	-31%	-5%	-8%	-13%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 29-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
奈良県	79	5.6	46	77	5.6	47	-2	-3%	75
奈良	21	5.7	46	23	6.4	49	2	10%	25
東和	14	6.1	47	12	5.7	48	-2	-14%	10
西和	20	5.7	46	17	4.9	46	-3	-15%	14
中和	18	4.7	44	20	5.3	47	2	11%	22
南和	6	6.7	49	5	6.7	50	-1	-17%	4
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

29. 奈良県（2016年版）

資_図表 29-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
奈良県	1,084	76	50	1,187	87	54	103	10%	1,300
奈良	354	96	60	377	105	63	23	6%	402
東和	152	66	45	159	75	48	7	5%	167
西和	236	67	46	277	80	50	41	17%	322
中和	264	69	47	302	80	50	38	14%	344
南和	78	87	55	72	96	59	-6	-8%	65
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 29-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
奈良県	2,923	206	49	3,201	234	49	278	10%	3,507
奈良	728	197	48	898	250	50	170	23%	1,085
東和	549	240	53	624	295	55	75	14%	707
西和	534	152	43	578	167	42	44	8%	626
中和	947	249	54	994	262	52	47	5%	1,046
南和	165	184	47	107	143	40	-58	-35%	43
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 29-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
奈良県	17,696	125	47	17,276	126	49	-420	-2%	16,815
奈良	4,317	117	45	4,520	126	49	203	5%	4,743
東和	3,186	139	50	2,774	131	50	-412	-13%	2,321
西和	4,366	124	47	4,081	118	47	-285	-7%	3,768
中和	4,672	123	47	5,057	134	50	385	8%	5,481
南和	1,155	129	48	844	113	46	-311	-27%	502
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 29-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
奈良県	11,319	80	49	10,882	79	50	-437	-4%	10,402	81
奈良	2,906	79	48	3,102	86	53	196	7%	3,318	98
東和	2,505	110	59	2,116	100	58	-389	-16%	1,688	88
西和	2,521	72	46	2,341	68	46	-180	-7%	2,143	66
中和	2,668	70	45	2,699	71	47	31	1%	2,733	75
南和	719	80	49	624	83	52	-95	-13%	520	83
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 29-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
奈良県	3,260	26	46	3,451	19	48	191	6%	3,661	14
奈良	642	21	43	791	16	46	149	23%	955	14
東和	565	24	45	568	19	48	3	1%	571	15
西和	992	35	52	904	21	50	-88	-9%	807	12
中和	889	29	48	968	21	50	79	9%	1,055	16
南和	172	13	39	220	15	45	48	28%	273	18
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

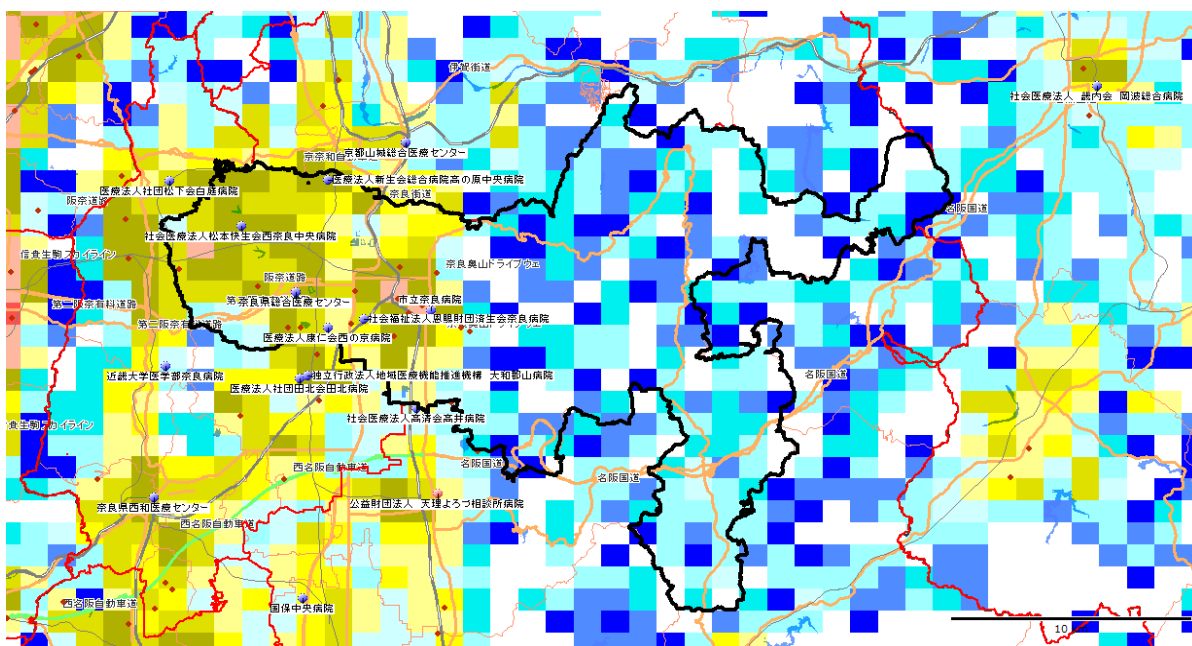
資_図表 29-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
奈良県	324	49	0.963	123	49	0.948	177	50	0.972
奈良	327	50	0.965	124	49	0.946	178	51	0.971
東和	304	44	0.931	115	46	0.917	167	44	0.945
西和	337	52	0.961	124	49	0.921	187	56	0.983
中和	319	48	0.973	122	49	0.967	174	48	0.979
南和	338	52	1.008	138	54	1.065	178	50	0.983
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

29-1. 奈良医療圏

構成市区町村¹⁰ [奈良市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(奈良医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 奈良(奈良市)は、総人口約360千人(2015年推計)、面積277km²、人口密度は1300人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 奈良の総人口は2025年に337千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に288千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて69千人へと増加し(2015年比+44%)、2040年には68千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 奈良の一人当たり医療費(国保)は316千円(偏差値49)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 奈良の一人当たり急性期医療密度指数²は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が53(病院医師数50、診療所医師数60)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。奈良には、年間全身麻酔件数が2000例以上の奈良県総合医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の市立奈良病院(Ⅲ群)、高の原中央病院(Ⅲ群)、500例以上の西奈良中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 奈良の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4817人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2841床(偏差値49)、高齢者住宅等が1976床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3720人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム50、軽費ホーム51、グループホーム49、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、939人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-41%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

奈良医療圏の総人口は、2005年370102人が、2015年に359824人と3%減少し、2025年の人口が337163人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

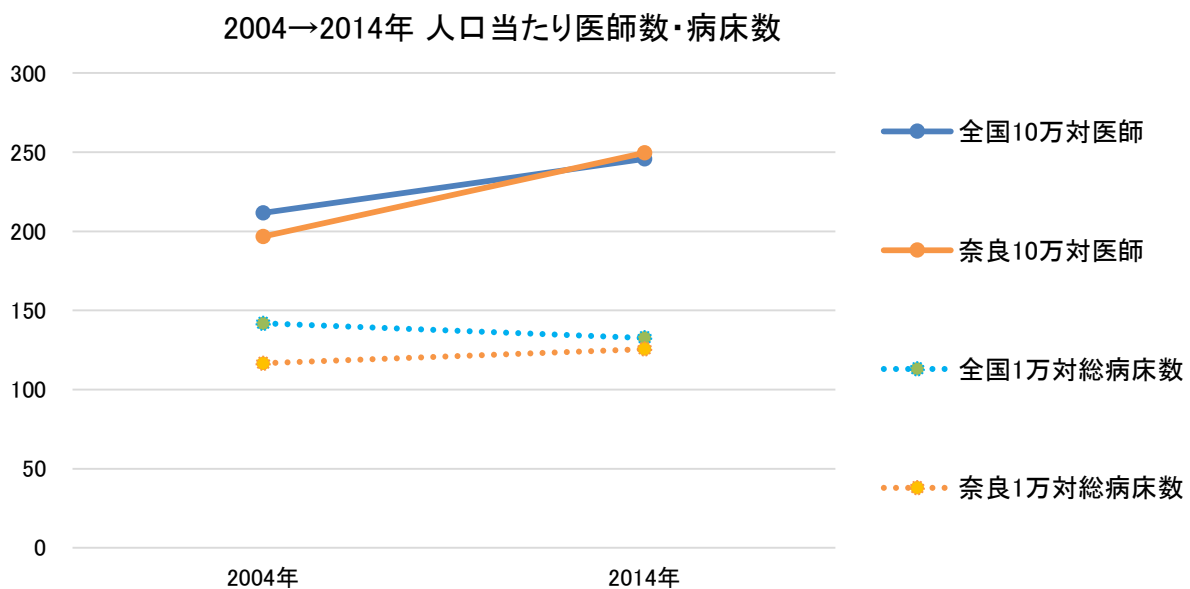
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に23(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が354(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に377(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、23診療所が増加した。

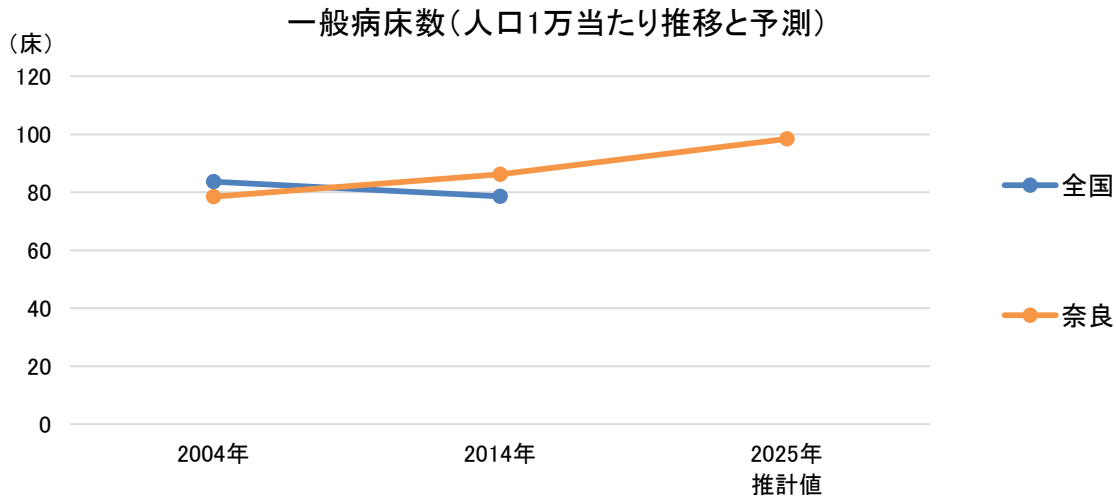
2004年の総病床数が4317床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に4520床(人口1万人当たり126(全国平均133)偏差値49)と、203床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が728人(人口10万人当たり197人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に898人(人口10万人当たり250人(全国平均246人)偏差値50)と、170人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



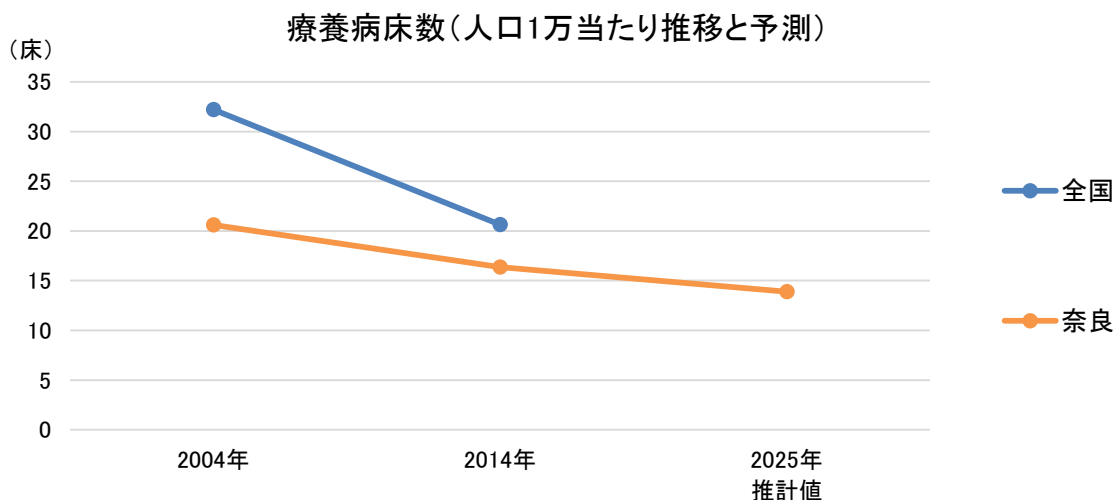
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2906床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に3102床(人口1万人当たり86(全国平均79)偏差値53)と、196床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3318床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



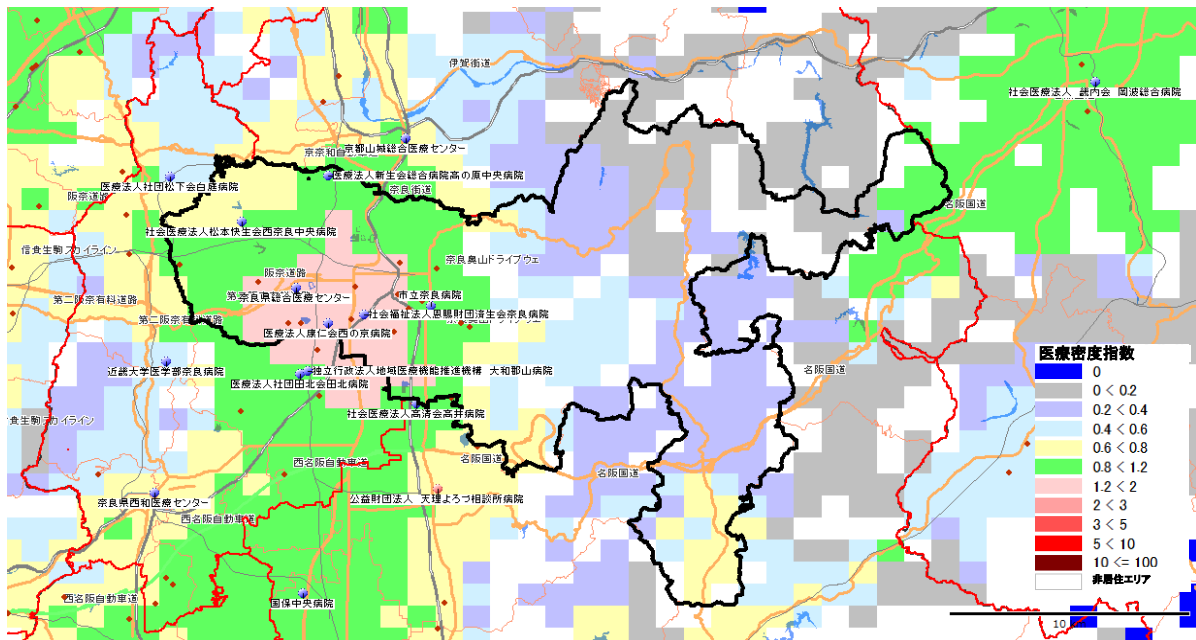
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が642床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に791床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、149床の増加、率にして23%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には955床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

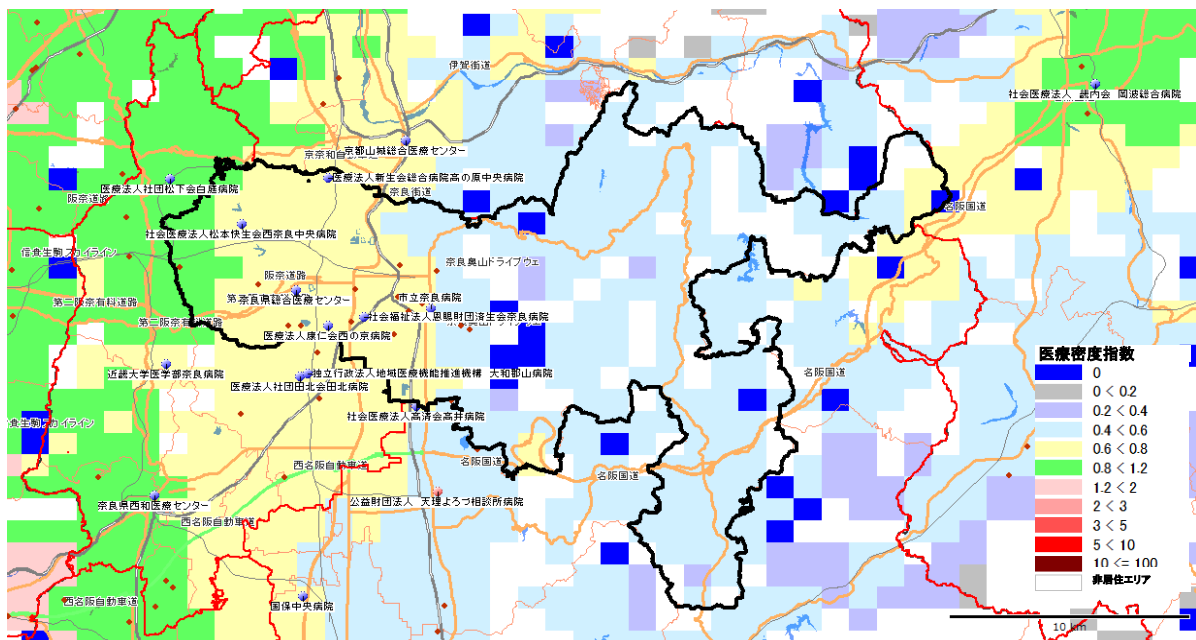


3. 医療密度⁵

図表29-1-1 急性期医療密度指数マップ



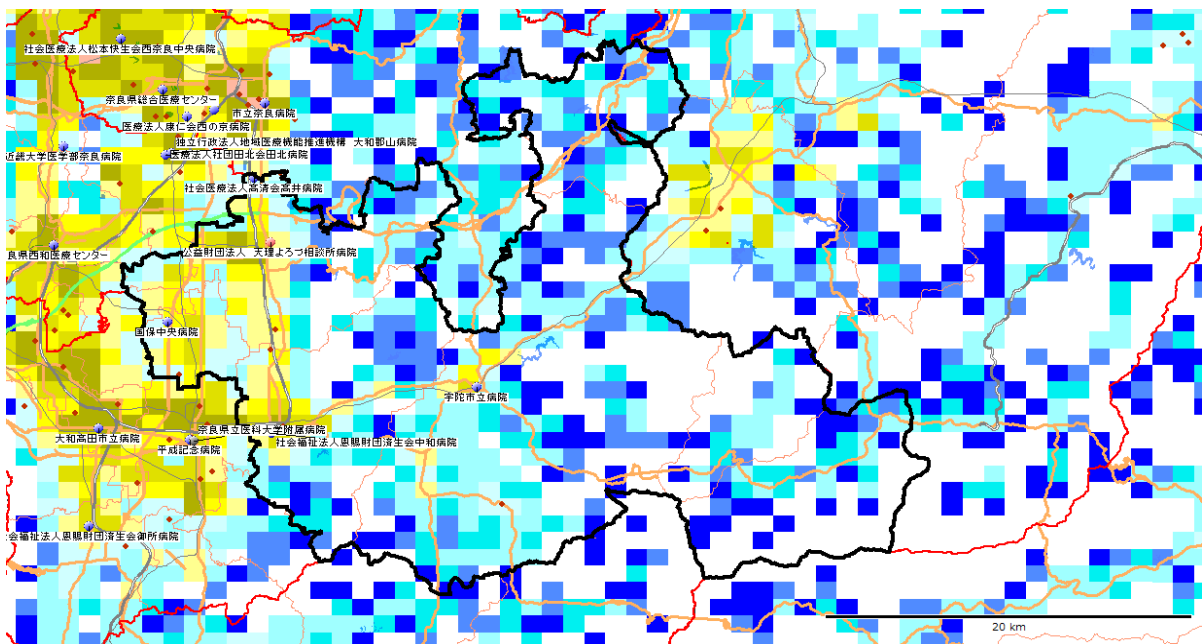
図表29-1-2 慢性期医療密度指数マップ



29-2. とうわ 東和医療圏

構成市区町村¹⁰ [天理市](#) [桜井市](#) [宇陀市](#) [山添村](#)
[川西町](#) [三宅町](#) [田原本町](#) [曾爾村](#)
[御杖村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（東和医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 東和(天理市)は、総人口約211千人(2015年推計)、面積658km²、人口密度は321人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 東和の総人口は2025年に193千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に161千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の30千人が、2025年にかけて38千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には36千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 東和の一人当たり医療費(国保)は300千円(偏差値45)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 東和の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.91で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が54(病院医師数58、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。東和には、年間全身麻酔件数が2000例以上の天理よろづ相談所病院(Ⅱ群)、500例以上の高井病院(Ⅲ群)、済生会中和病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 東和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2708人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1934床(偏差値53)、高齢者住宅等が774床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2409人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム43、軽費ホーム76、グループホーム49、サ高住33である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、344人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東和医療圏の総人口は、2005年228586人が、2015年に211378人と8%減少し、2025年の人口が192696人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

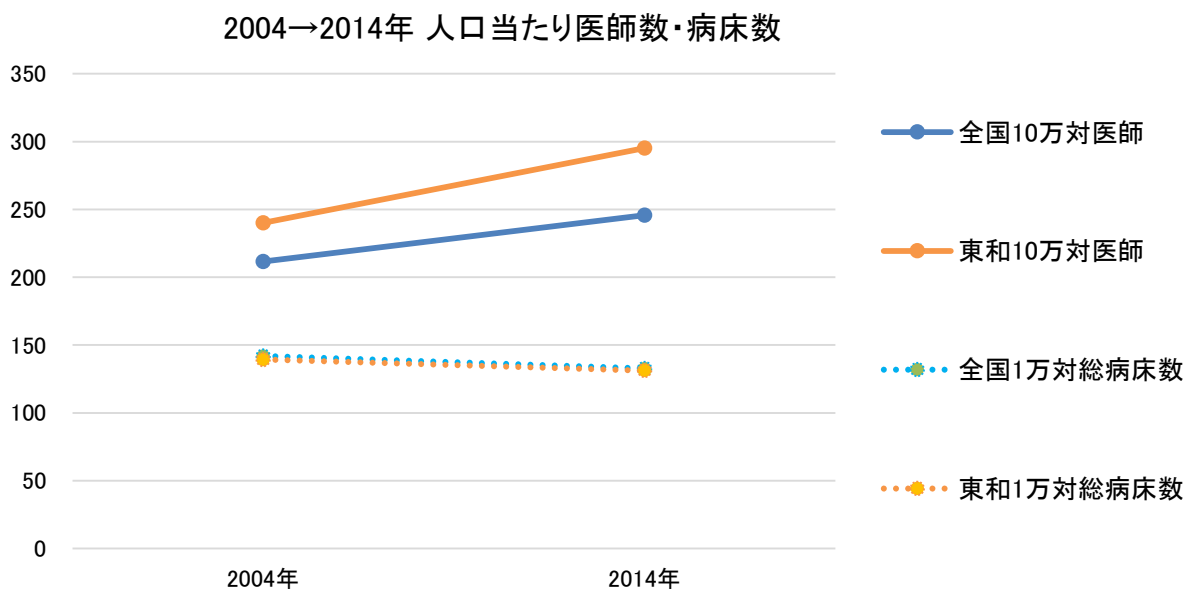
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に12(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が152(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に159(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、7診療所が増加した。

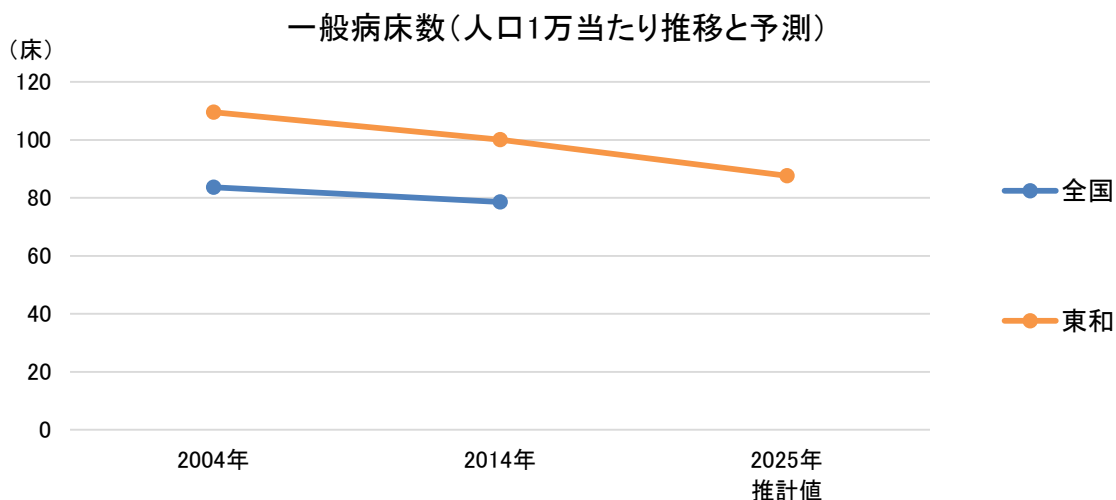
2004年の総病床数が3186床(人口1万人当たり139(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に2774床(人口1万人当たり131(全国平均133)偏差値50)と、412床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が549人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に624人(人口10万人当たり295人(全国平均246人)偏差値55)と、75人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



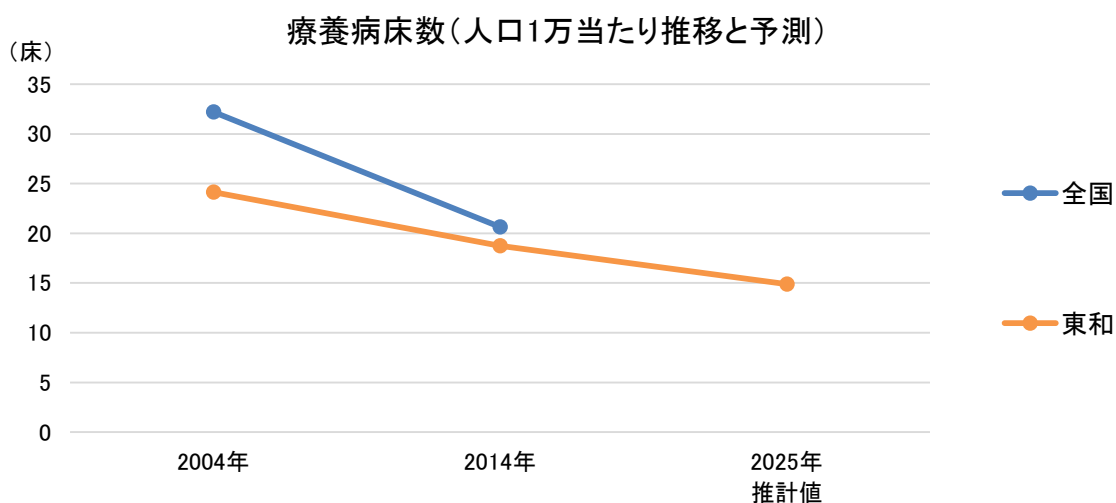
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2505床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に2116床(人口1万人当たり100(全国平均79)偏差値58)と、389床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1688床(2025年の推計人口1万人当たり88)になることが予想される。



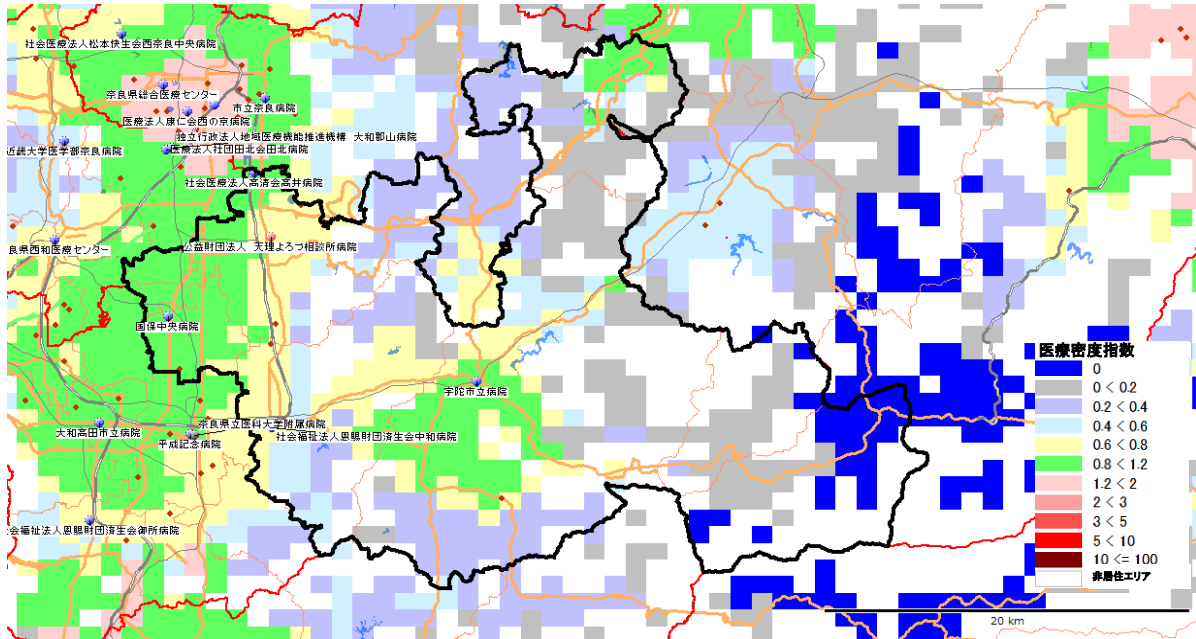
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が565床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に568床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、3床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には571床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

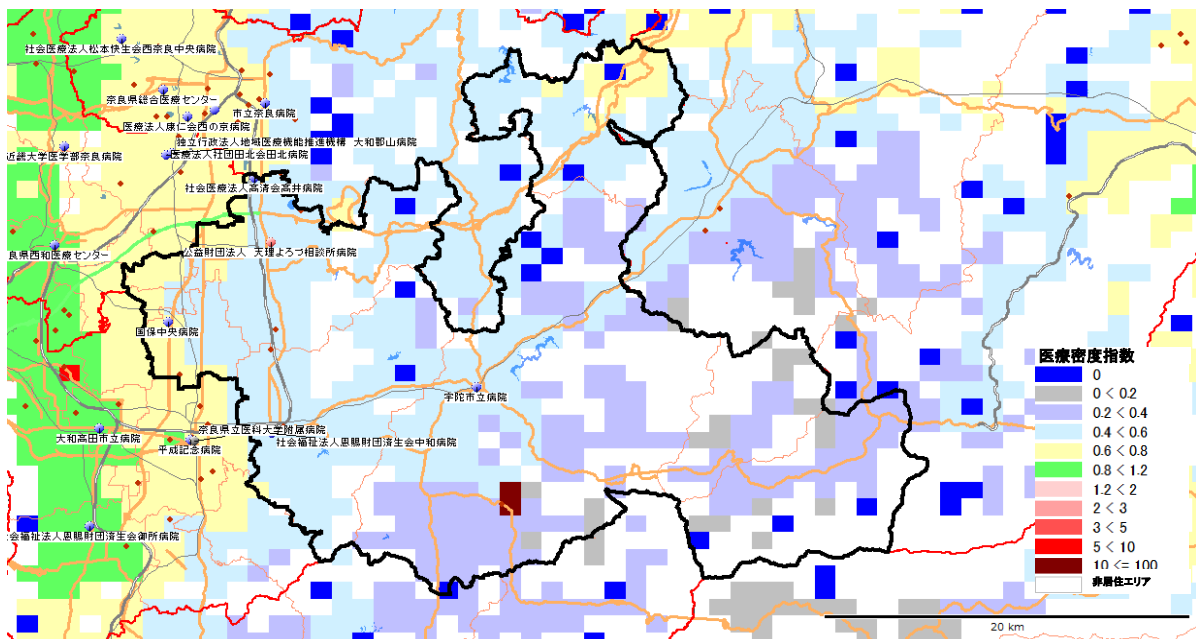


3. 医療密度⁵

図表29-2-1 急性期医療密度指数マップ



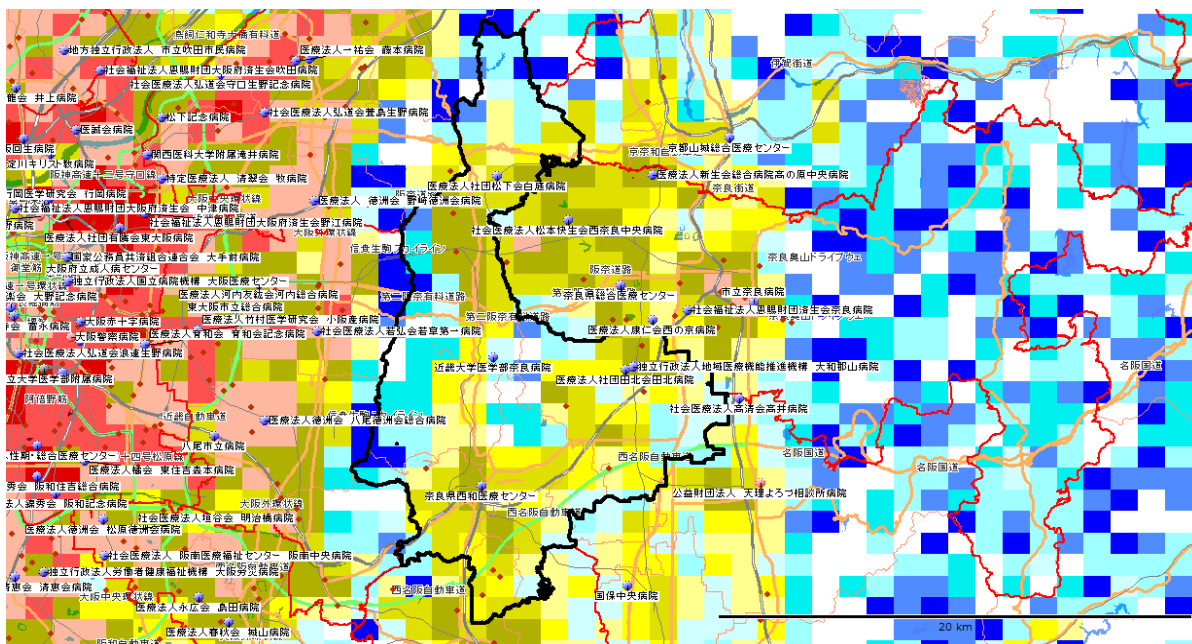
図表29-2-2 慢性期医療密度指数マップ



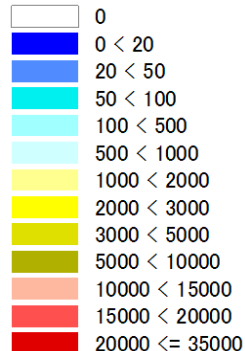
29-3. せ い わ 西和医療圏

構成市区町村¹⁰ 大和郡山市 生駒市 平群町 三郷町
斑鳩町 安堵町 上牧町 王寺町
河合町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(西和医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 西和(大和郡山市)は、総人口約346千人(2015年推計)、面積169km²、人口密度は2050人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 西和の総人口は2025年に325千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に279千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 西和の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値54)、介護給付費は219千円(偏差値41)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 西和の一人当たり急性期医療密度指数²は0.77、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.76で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数43、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。西和には、年間全身麻酔件数が2000例以上の近畿大学医学部奈良病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の奈良県西和医療センター(Ⅲ群)、白庭病院(Ⅲ群)、田北病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値57と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 西和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4995人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2600床(偏差値50)、高齢者住宅等が2395床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3398人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム64、軽費ホーム52、グループホーム48、サ高住52である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、710人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

- *介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西和医療圏の総人口は、2005年351929人が、2015年に345511人と2%減少し、2025年の人口が324968人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

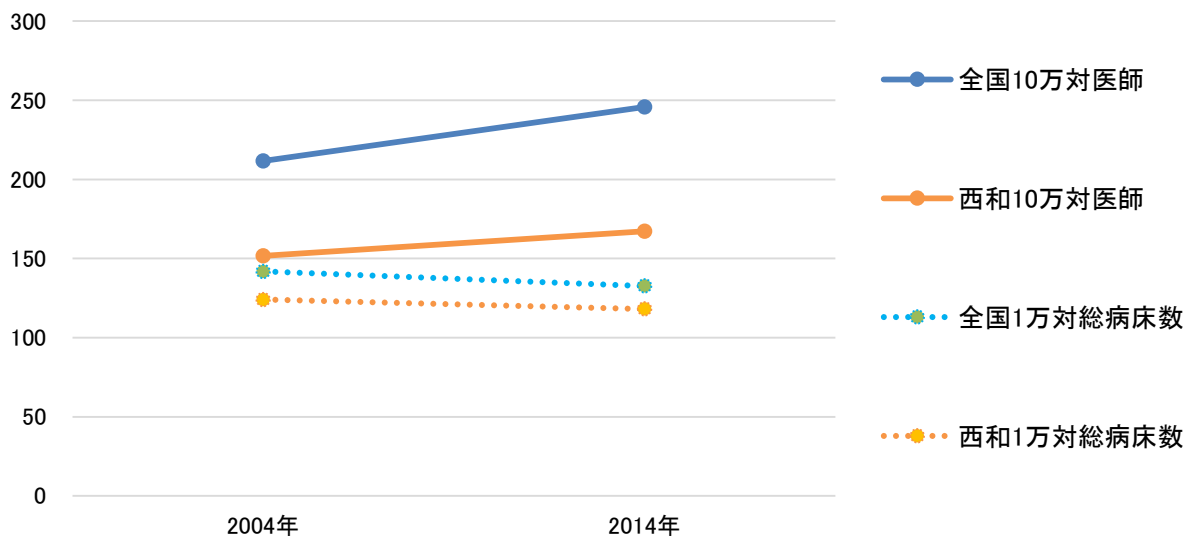
2004年の病院数が20(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に17(人口10万人当たり4.9病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が236(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に277(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、41診療所が増加した。

2004年の総病床数が4366床(人口1万人当たり124(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に4081床(人口1万人当たり118(全国平均133)偏差値47)と、285床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

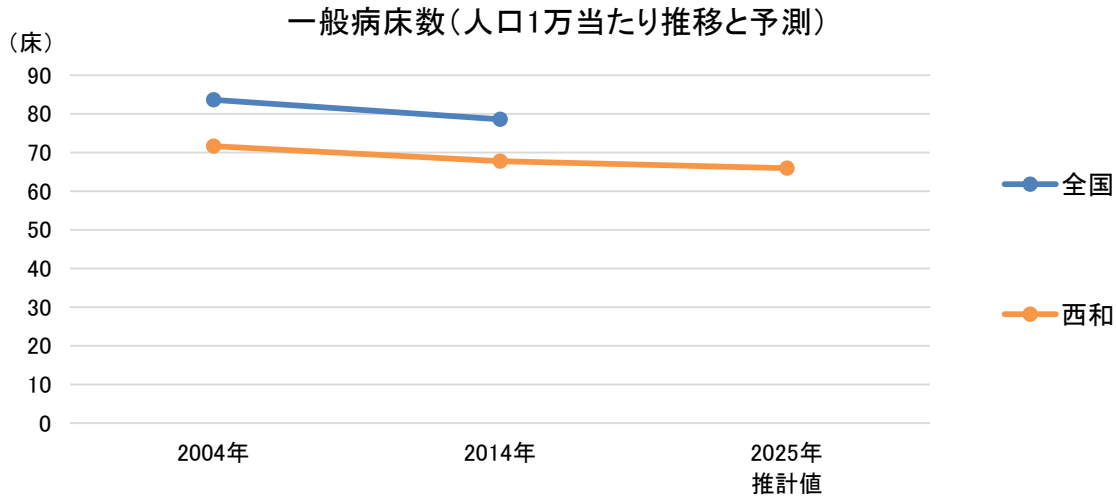
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が534人(人口10万人当たり152人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に578人(人口10万人当たり167人(全国平均246人)偏差値42)と、44人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



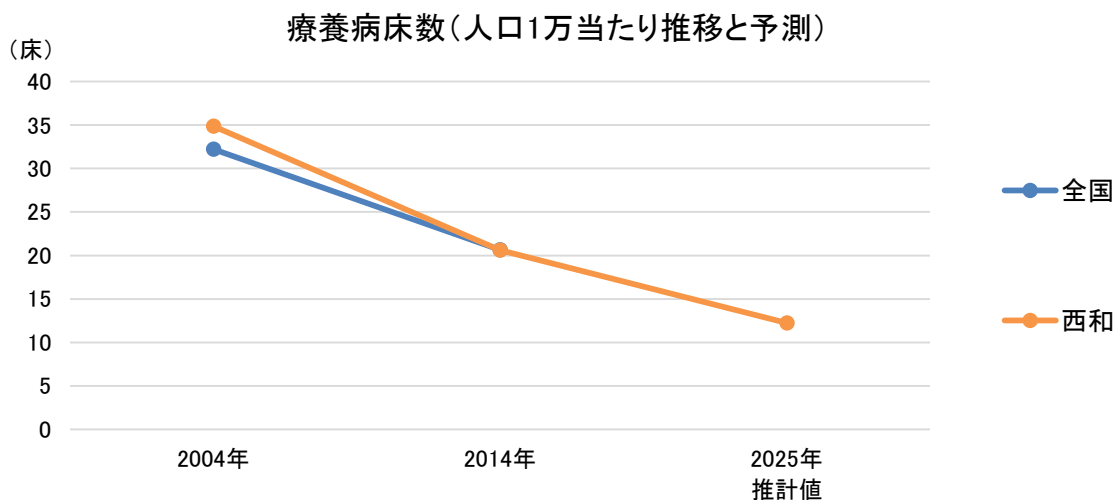
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2521床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に2341床(人口1万人当たり68(全国平均79)偏差値46)と、180床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2143床(2025年の推計人口1万人当たり66)になることが予想される。



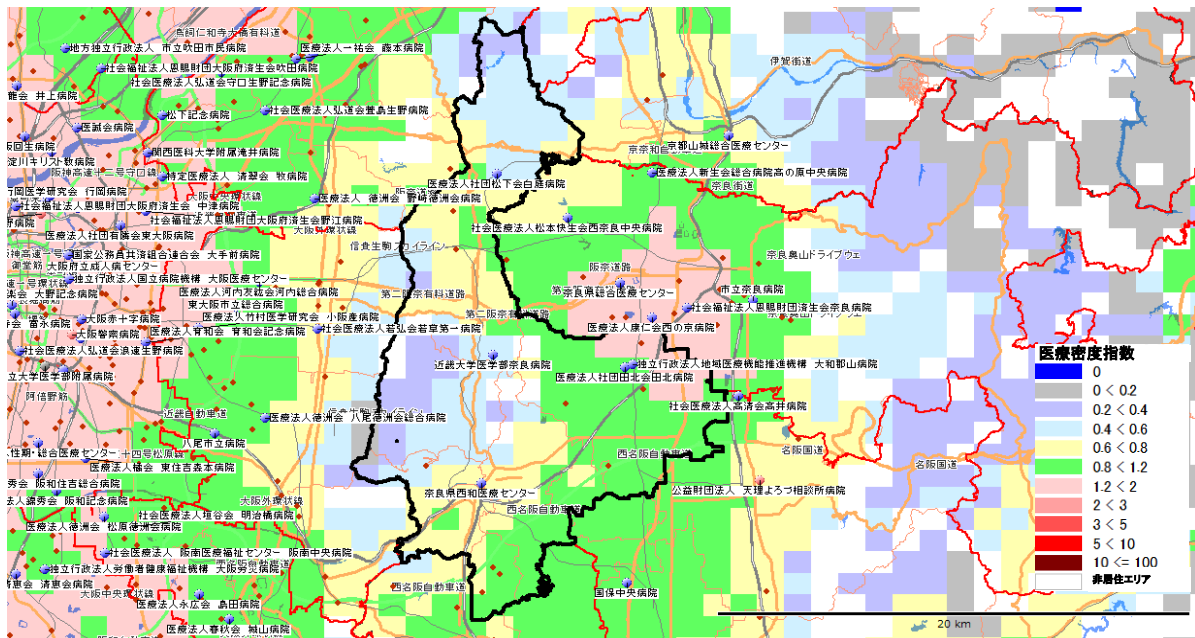
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が992床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に904床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、88床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には807床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

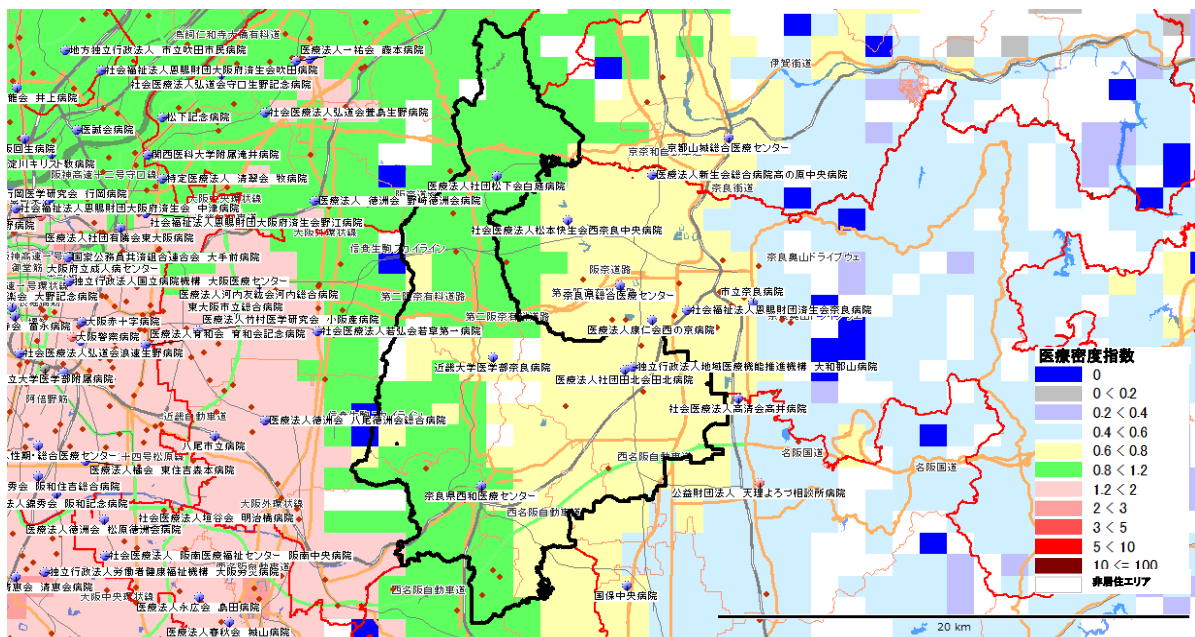


3. 医療密度⁵

図表29-3-1 急性期医療密度指数マップ



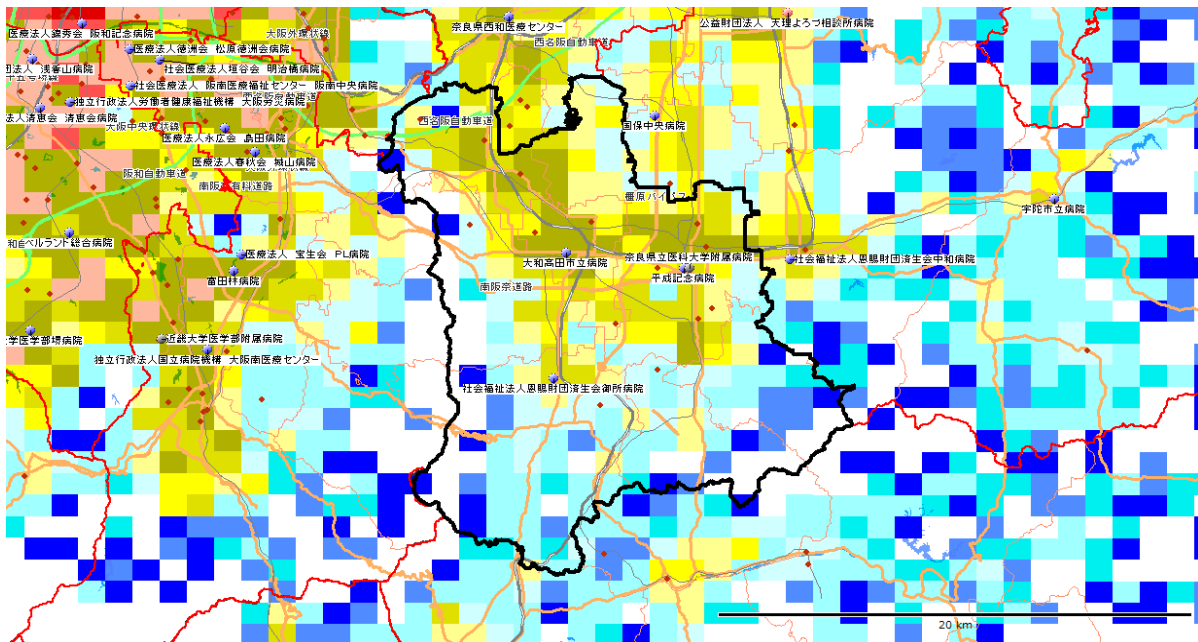
図表29-3-2 慢性期医療密度指数マップ



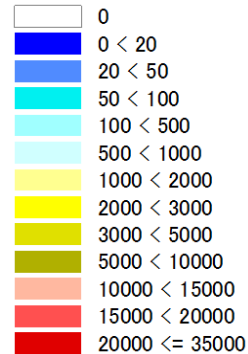
29-4. ちゅうわ 中和医療圏

構成市区町村¹⁰ [大和高田市](#) [橿原市](#) [御所市](#) [香芝市](#)
[葛城市](#) [高取町](#) [明日香村](#) [広陵町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（中和医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中和(大和高田市)は、総人口約379千人(2015年推計)、面積241km²、人口密度は1573人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中和の総人口は2025年に362千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に323千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には66千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中和の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値49)、介護給付費は218千円(偏差値40)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 中和の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が55(病院医師数58、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。中和には、年間全身麻酔件数が2000例以上の奈良県立医科大学附属病院(I群・救命)、1000例以上の大和高田市立病院(III群)、500例以上の香芝旭ヶ丘病院(III群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4440人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3293床(偏差値60)、高齢者住宅等が1147床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3780人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム45、軽費ホーム47、グループホーム45、サ高住41である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、722人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-39%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中和医療圏の総人口は、2005年380851人が、2015年に378742人と1%減少し、2025年の人口が362457人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

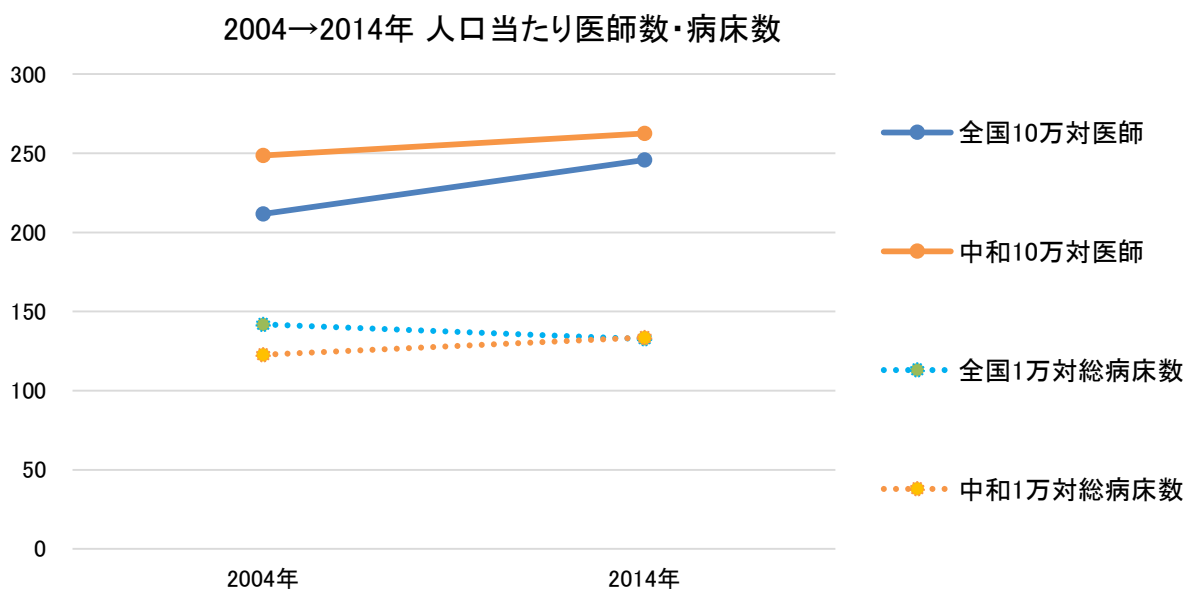
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が18(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に20(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が264(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に302(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、38診療所が増加した。

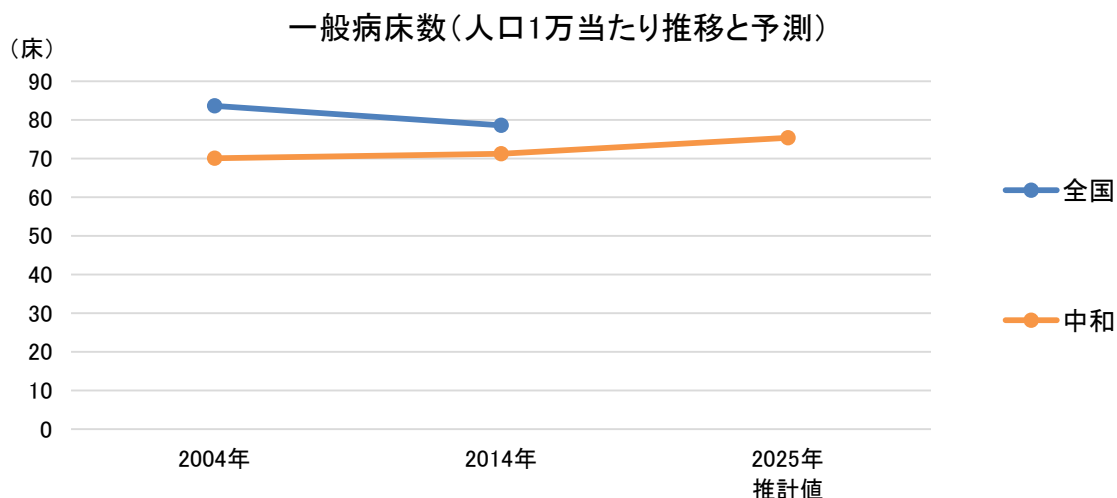
2004年の総病床数が4672床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に5057床(人口1万人当たり134(全国平均133)偏差値50)と、385床の増加、率にして8%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が947人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に994人(人口10万人当たり262人(全国平均246人)偏差値52)と、47人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



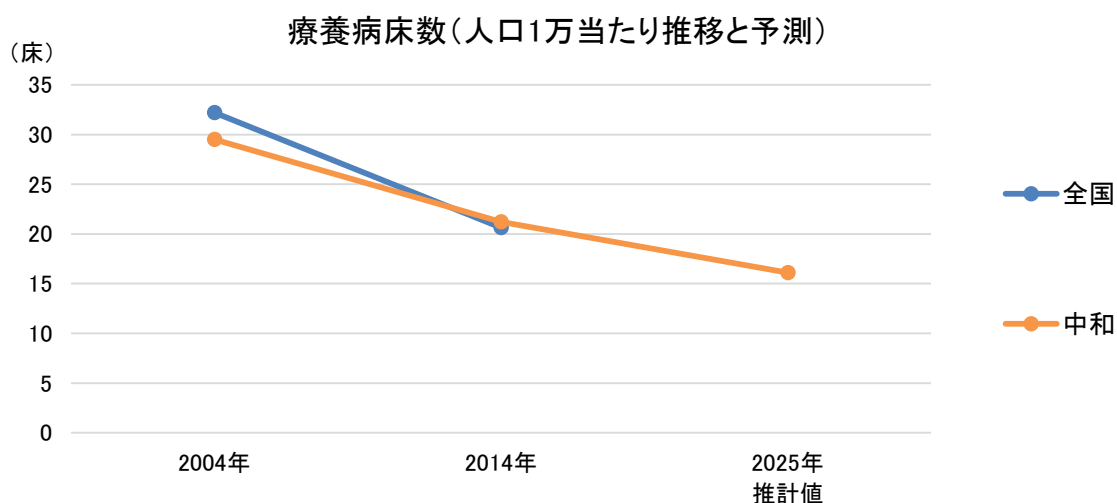
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2668床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に2699床(人口1万人当たり71(全国平均79)偏差値47)と、31床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2733床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



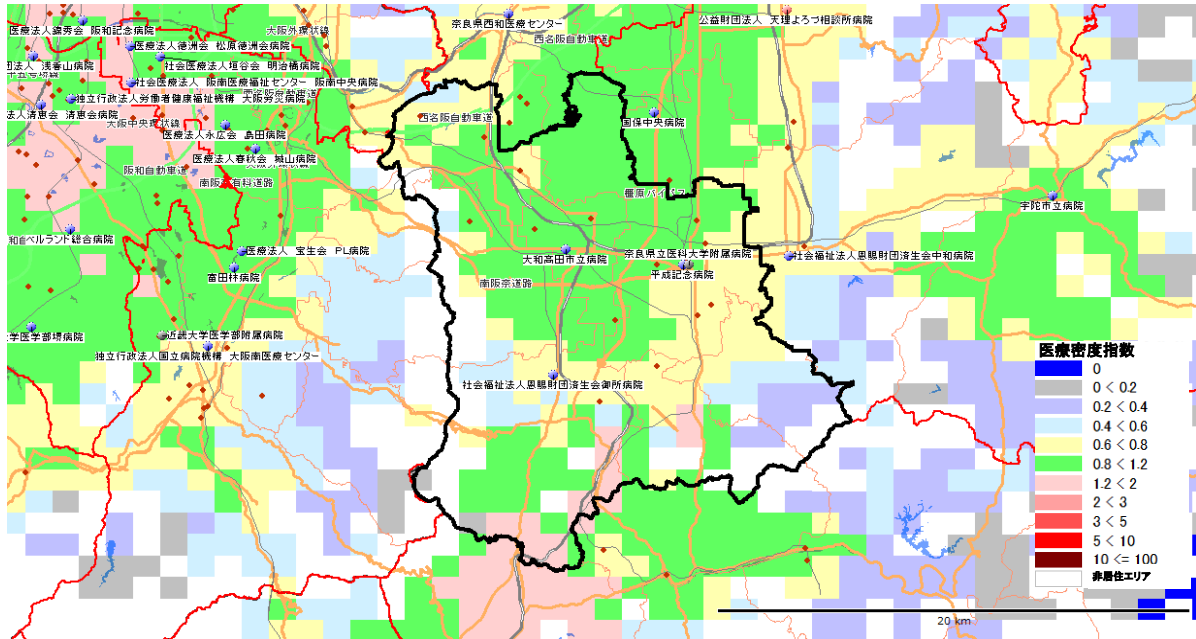
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が889床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に968床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、79床の増加、率にして9%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1055床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

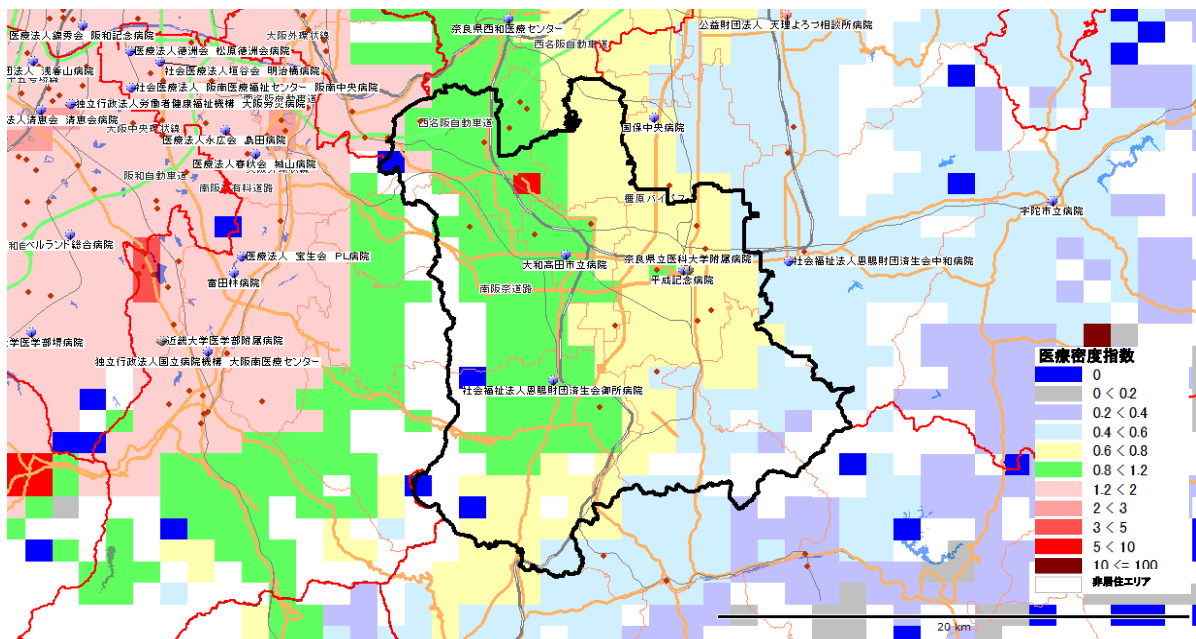


3. 医療密度⁵

図表29-4-1 急性期医療密度指数マップ



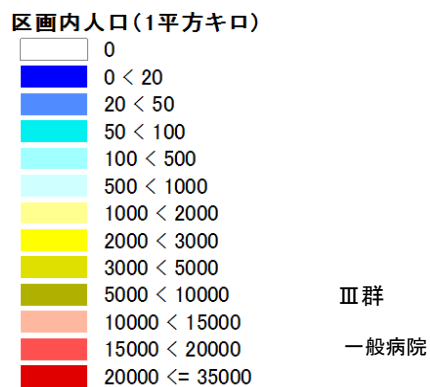
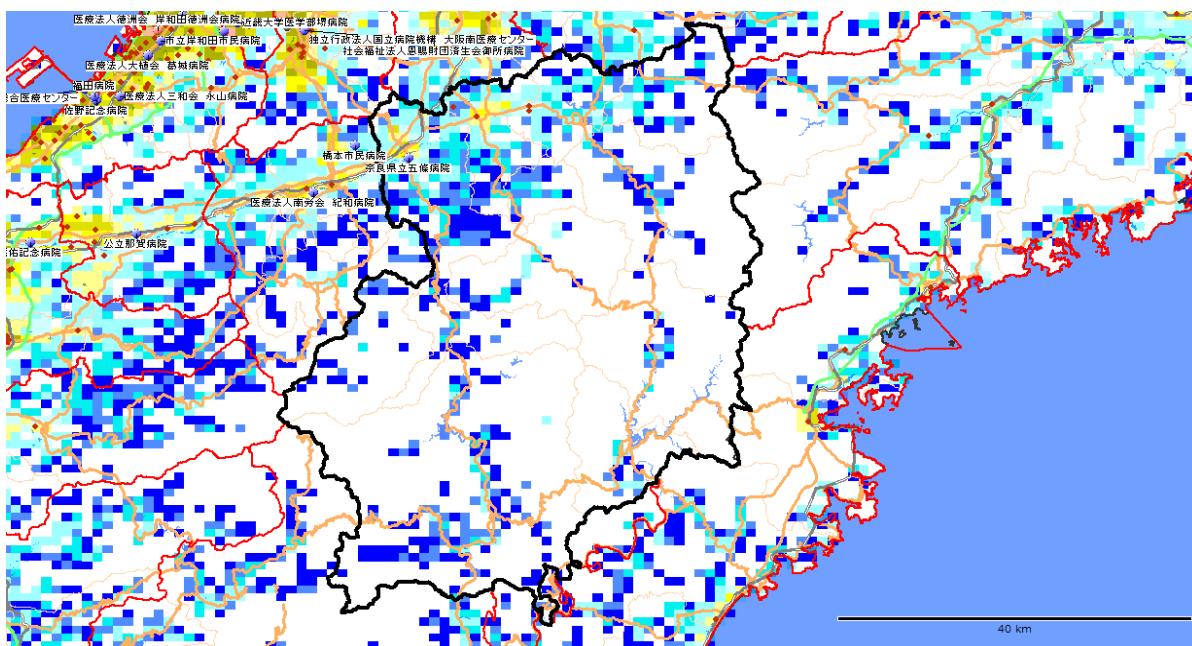
図表29-4-2 慢性期医療密度指数マップ



29-5. なんわ 南和医療圏

構成市区町村¹⁰ [五條市](#) [吉野町](#) [大淀町](#) [下市町](#)
[黒滝村](#) [天川村](#) [野迫川村](#) [十津川村](#)
[下北山村](#) [上北山村](#) [川上村](#) [東吉野村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(南和医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南和(五條市)は、総人口約75千人(2015年推計)、面積2347km²、人口密度は32人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南和の総人口は2025年に62千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に46千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南和の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値52)、介護給付費は300千円(偏差値63)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南和の一人当たり急性期医療密度指数²は0.79、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.32で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数38、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。南和には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1375人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1183床(偏差値65)、高齢者住宅等が192床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1111人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設52、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム53、グループホーム48、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、180人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南和医療圏の総人口は、2005年89842人が、2015年に74898人と17%減少し、2025年の人口が62434人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

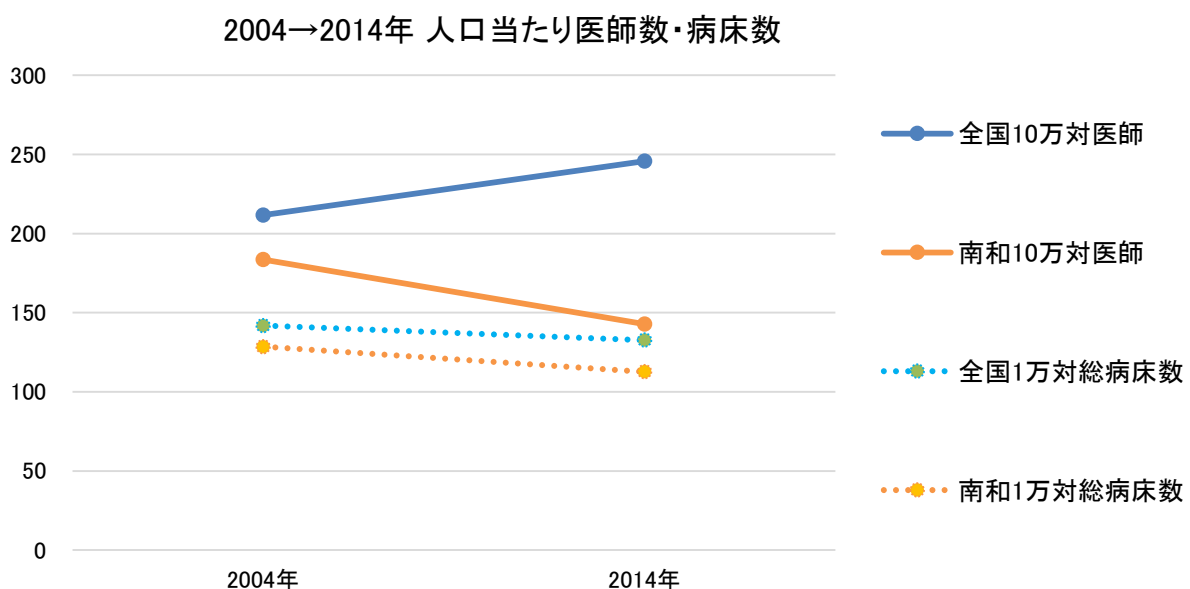
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり6.7病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に5(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に72(人口10万人当たり96診療所(全国平均79)偏差値59)と、6診療所が減少した。

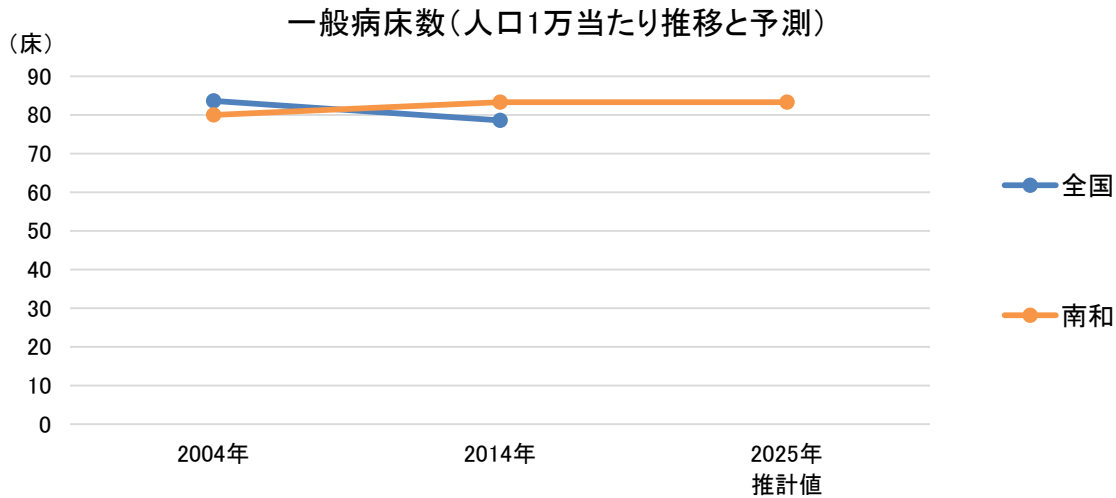
2004年の総病床数が1155床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に844床(人口1万人当たり113(全国平均133)偏差値46)と、311床の減少、率にして27%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が165人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に107人(人口10万人当たり143人(全国平均246人)偏差値40)と、58人の減少、率にして35%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



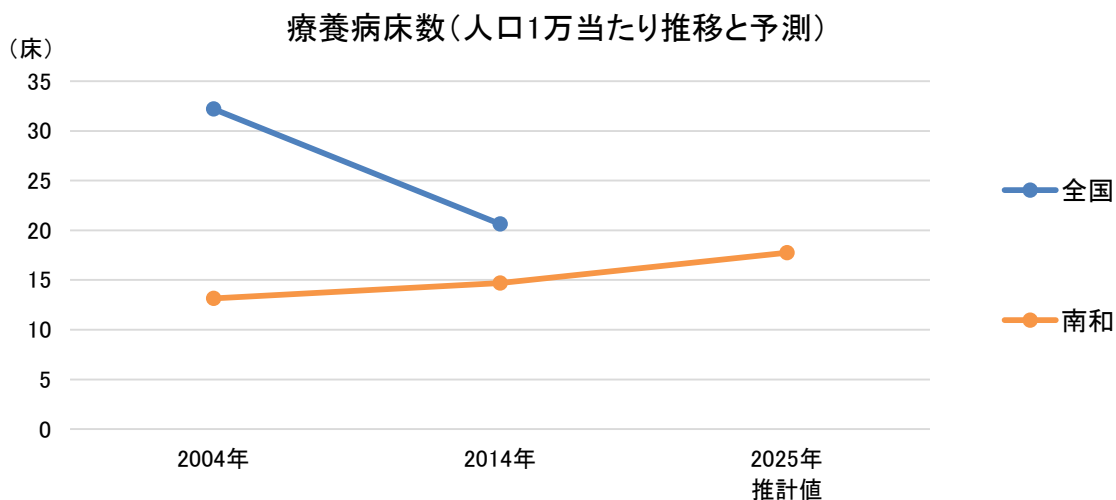
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が719床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に624床(人口1万人当たり83(全国平均79)偏差値52)と、95床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には520床(2025年の推計人口1万人当たり83)になることが予想される。



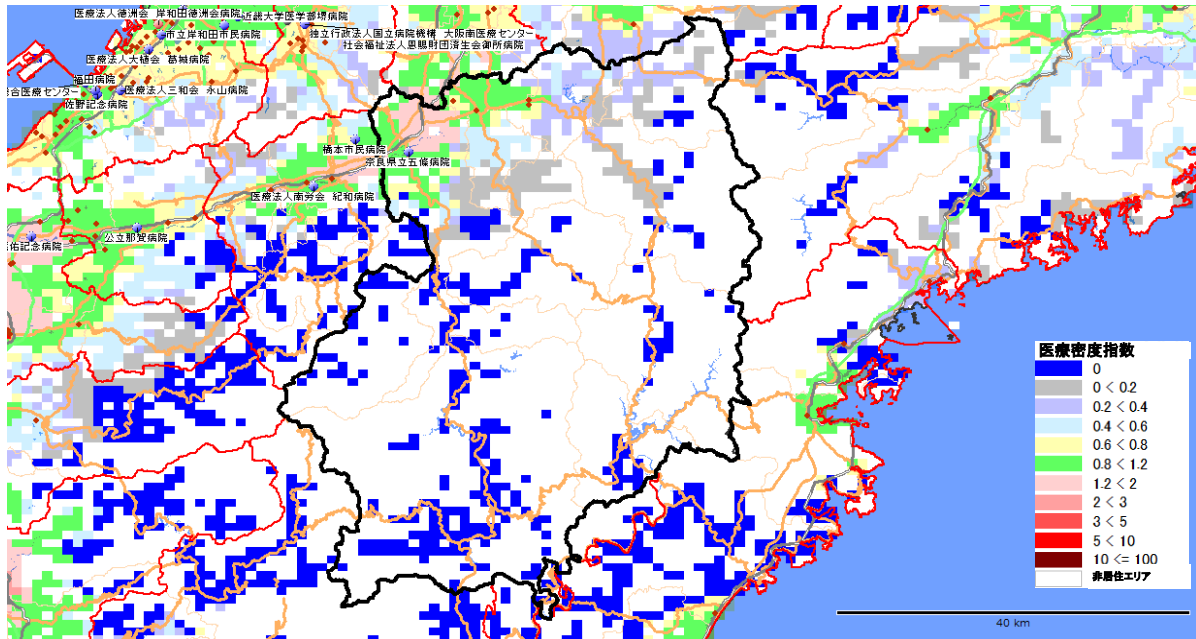
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が172床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に220床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、48床の増加、率にして28%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には273床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。

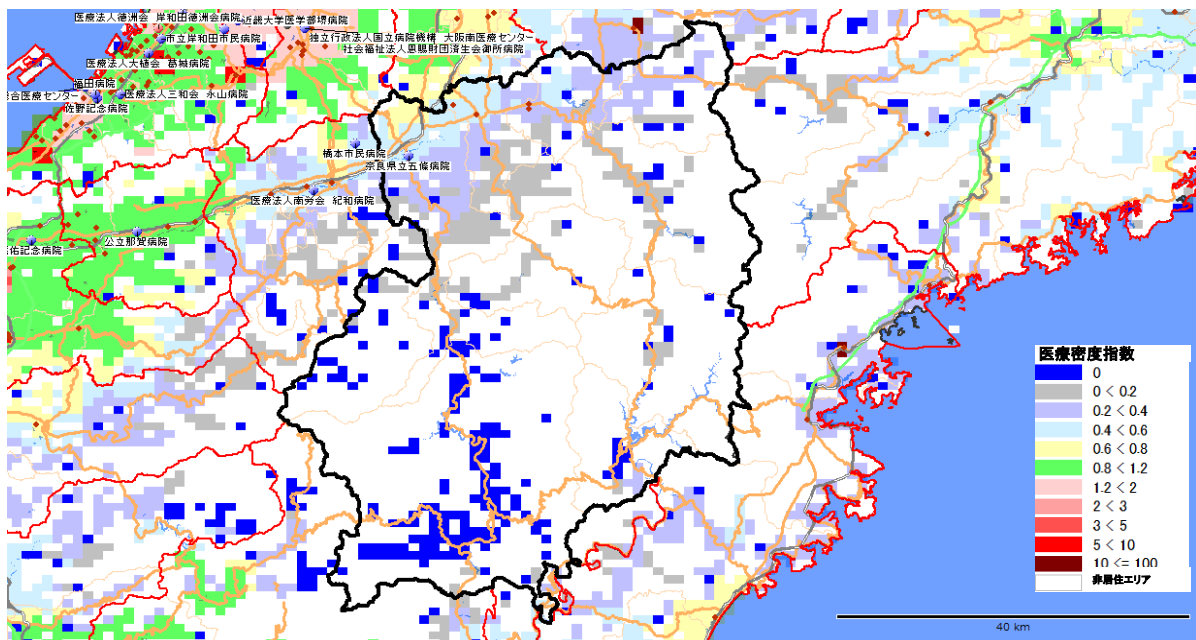


3. 医療密度⁵

図表29-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-5-2 慢性期医療密度指数マップ



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。